



中央の沈み石によってできるヨレに尺ヤマメが潜んでいる。一見フラットのように見えるが、複雑にヨレが交差しあう。その難しさはフライを乗せてみれば一瞬で思い知らされる。ライズがなければ手も足も出せない流れ。ライズがあってもどうにもならない時が多いが。

# パニック・ライズ

2010年5月29日 | 山梨県・桂川

文・写真 松井真二 (まついしんじ／東京都八王子市)

今年の3月、山梨県桂川のあるポイントで、尺ヤマメのライズを見つけた。いくつもある重要ポイントの巡回コースに入れて、ずっとその尺ヤマメの様子を見続けた。ライズをしていない日もあれば、ライズしていても釣れない日、ワンキャストで沈めてしまった日、フライの直前でUターンされた日など、解禁から3ヶ月で通った回数は数10回にのぼった。

5月29日、前夜からの雨により子供の運動会が中止になったので、いそいそと桂川に向かった。桂川で釣りをする限り、雨は大歓迎だ。だが今年3月の大雪以来ずっと水位が高い状態が続いていることを考えると正直あまり降ってはほしくない状況だ。

ここ何日かで大分落ち着いてきた感じはするが、水位が高いまま落ち着いたら、いわゆる高止まりの状況。雨量によっては手が出せなくなってしまうので微妙な心境だ。しかも当日は、予想最高気温9度という3月並みの寒い日だった。

幸い雨は霧雨程度でおさまってくれた。寒くても雨の方がいいので、願ってもない桂日和だ。土曜日ということもあり、各有名ポイントにはどこも先客が張り付いていた。本命ポイントに先客がいることも充分考えられる。わずかな望みを抱きつつ現場に到着すると、駐車スペースには釣り人らしき車は

なし。素早く準備をして川へ駆け下りた。

## アカマダラ登場

本命ポイントまでは、しばらく川通しで下って行く。その途中には、流速・水深ともに意を決して渡る必要があるほどの瀬がいくつかある。雨量次第では危険な思いをする。濁りが入ればさらに危険度は増す。そんな流れでも何度も何度も通い込むうちに、比較的 safely に渡れるルートは頭に入ってしまった。

瀬を渡りつつも流れの筋を注視すると、いたる流れでライズがある。ただしライズの主はいいとこ8寸程度のヤマメで、ほとんどが7寸以下の可愛いサイズ。かなりの数である。

わざわざ狙うサイズではないが、このチビライズ、実は要注意だったりする。時としてチビライズはデカヤマメのライズを誘発することがあるのだ。それにチビライズが活発なのは、何らかの水生昆虫の流下がある証拠でもある。

しばらく目を凝らして流れを睨み続けるうち、時々重厚感のあるヨレのようなライズ（仲間の間では「ヨレライズ」と呼んでいる）が発生しているのを発見した。時間は16時を少し回ったところ。ハッチはアカマダラゲロウとエラブタマダラカゲロウだ。

狙ってみると、何の変哲もないチープな瀬から9寸サイズが連発した。喰われていたのは9割がアカマダラだった。過去の経験上、小雨がバラつく日のアカマダラは、尺ヤマメを浮かせるだけのスーパーハッチになることが多い。期待に胸を膨らませた。

ウイングが伸びきっていないDDだった。使用したフライは「アカマダラ・シェー・ダン」。張り付き系のDDパターンだが、このパターンを瀬で使うと爆発的な威力を発揮する。ただしドリフトは困難を極める。浮力が乏しい、引っ掛かりがない、視認性も良くないなど、使い勝手ははっきり言って良くない。

でも好んでこのパターンを使う理由は、ズバリ「出る」からだ。このパターンを瀬で使うために必要なのは、実は技術で

少しづつ光量が落ち始めるプレ・イブニング時、時間は17時前、このチープな瀬で尺ヤマメが出た。ストマックを引いてみるとやはりアカマダラだ。その大半は

その後、雨が少し強く降り始めた。時間は18時前後。潮回りからしてそろそろライズが爆発していい時間帯である。ちなみにこの日は大潮の2日目だった。満潮が18時40分。

## 潮を読む

海釣りではお馴染みの「潮回り」は、ヤマメ釣りに関しては聞き慣れない言葉かもしれない。私は数年前から、潮の満ち干きが載っている潮時表を基に潮回りを確認しつつ、ポイント選び、ライズ待ちの時間、見切って移動するタイムニングなど、一日の釣りを組み立てている。

大潮の日には、潮の満ち干きの差が最も大きくなる。といっても溪の水位が変化することはないだろう。ただ、海の水位が数10センチも変化するほどの引力だから、全ての生物が少なくとも何らかの影響を受けると考えて当然ではないだろうか。

小さい生物ほど潮の影響を受けやすいのではないかとすると、水生昆虫はかなりの影響を受けるはずである。個人の勝手な推測の域を出ないが、これまでの



霧雨の降るポイントにて。市街地であるにも関わらず、谷が深く人間の生活の気配は一切届かない。尺ヤマメと一対一で向き合える、私の大切な場所。

## Panic Rise